

地域と大学をつなぐマガジン

vol. 02

CONTACT

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

本誌は、横浜市立大学と地域の皆さまとを「もっとつなげる」
交流の接点となることを目指して発行しています。
学生はどんなふうに過ごしているの？
大学って何をしているの？
そんなことが「読んで楽しく」伝わるように。
思いを込めて、有志の学生ライターが制作しています。

Z世代を見にいこう！ in 横浜市立大学

このごろ都に流行るもの、推し活 SHEIN スナップチャット…

二条河原の落書もかくやというほどの混沌ぶりを呈する現代日本。

超高齢化社会を迎えてなお、未だに衰えないもの、それは若者の「進化」ではないだろうか？

皆が同じテレビを見て流行りを共有していた時代はとうに過去、もはや我々若者でも観測できないほどに若者は多様化し、ますます深化を遂げている。そこで今回は今をときめくZ世代の学生たちにインタビューを行った。

この記事を読めば、謎に包まれしZ世代の衝撃の生態がわかるかも！？

File-001 M.J.

トップバッターを飾るのはこの男、M.J.。

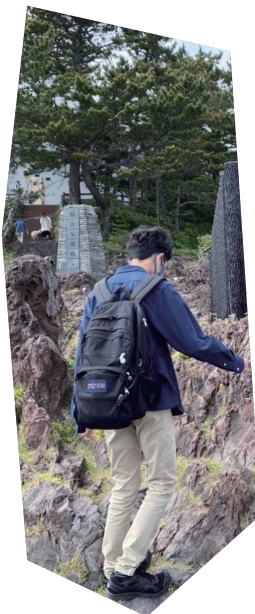
医学部医学科2年生、スガシカオの「progress」がマイ・ベスト・ミュージックだという彼には守りたいものがあつた。たとえ何度傷つき、倒れ、その代償に何かを犠牲にしたとしても……

そう。その名も「9時間睡眠 (nine hours sleep)」である。

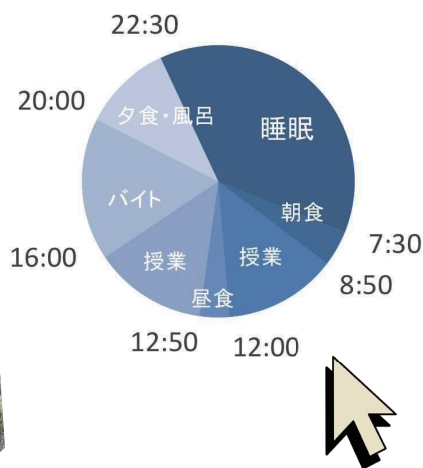
生粋の東京都民たる彼がわざわざ横浜の医学部を目指した理由は「ヨコハマの街並みが好き」「医師という立場から地域と関わりたい」とのこと。もともと東急バスに乗るのが好きだったというM.J.。最近はいだいたいの路線を乗りつくしてしまったため、硬式テニスで鍛え上げた脚力を活かして徒歩での町巡りにいそしんでいる。

今年の目標は極めてシンプルに「進級」らしいが、試験に部活に恋に…とハードを極める医学部の生活で、果たして彼は守りたいものを守れるのか！？

こうご期待。



1日のスケジュール



好きな横市の講義は「まちづくり学入門」。「最高に面白かった。全員受けるべき」とのこと。

File-002 外園清香



トランプ記憶を行っている様子

52枚のカードの順番をわずかな時間で正確に覚えた。

記憶の速さと正確性を競うメモリスポーツ。今回はトランプ記憶の日本女子記録保持者の外園清香さんに話を聞いた。

競技を始めたきっかけは大学1年の夏に見たテレビの特集。気づいた時にはのめり込んでいた。

「競技の魅力は、スコアが目に見える形で上がることです。」と外園さんは言った。そんな彼女にも記録が伸び悩む時がある。その時は、一度立ち止まって仲間と意見を共有するそうだ。

また、外園さんは記憶術のオンライン学習サービスを運営する「メモアカ」の一員としてコーチング、メディア出演、執筆を通じて普及活動も行っている。

「メモリスポーツは発展途上の競技。皆さんにもっと知ってほしい。」と彼女は強く訴えた。

「記憶力はトレーニングで伸ばせるので、ぜひ体験してみませんか？」

独学で記憶術が学べるメモアカのHPはこちら♪

<https://www.memoaca.com>



メモリーアスリートとしてタモリ倶楽部に出演。「改めて考えると、すごく貴重な経験だった」(本人談)

File-003 舞



「大学」は知っているけれど「大学院」にはどんな人がいるの？そんな疑問に答えてくれるのが、生命ナノシステム科学研究科 生命環境システム科学専攻の院生、舞さんである。ほんわかした雰囲気をもと彼女の研究テーマは「アフリカツメガエルの食欲ホルモン」。将来的にはヒトの肥満医療への応用も見据えて研究を行っているという。実験の息抜きは釣りで「1本の糸を通じて魚と対話できるのが魅力」と楽しそうに語ってくれた。また、金沢区消防団に所属し、休日は海の実環境保全活動にも励んでいる。

学部時代は専攻から離れた防災や町づくりの講義も積極的に受講した。一見関係のない分野が何気ないきっかけで繋がる、そこに研究の面白さがある。一朝一夕に結果は出ない。でもいつか誰かの役に立つと信じて、彼女は今日も研究室へと向かう。「だから専門にとらわれないでほしい」と舞さんは言った。

「幅広い知識を吸収し、よく学んでください。いつカラボで会いましょう」



城ヶ島の磯でアマガエルとのおしゃべり
小さい頃から自然大好き
いきもの大好き

好きな横市の場所は中庭の人工池。
気持ちよさげに泳ぐ生き物について話しかけたくなるそう。

File-004 関 & 菊原



横市での大収穫は芦澤美智子先生と出会えたこと。
起業を後押しした存在であり、2人のターニングポイントに。

マッチング率 100%を維持していく。こう語るのは株式会社 StockBase の共同創業者の関さんと菊原さんだ。横浜市立大学で2人は偶然の重なりによって出会い、学生のまま起業に至った。

StockBase は「廃棄するくらいなら有効活用」を目標に、企業内でまだ使えるにも関わらず廃棄されてしまう物品を、それを必要とする団体へ取り次ぐ役割を果たす。持続可能な社会、ビジネスの両立がポイントだ。利用エリアは全国展開しながら、地域の中でモノと思いを循環させるために地産地消も意識している。地域のつながり、それが StockBase を中心として生まれつつあるのだ。学生が起業するのはとてもハードルが高く見える。しかし、2人はこのように声をかけた。「起業はひとつの選択肢。自分のやりたいことを大事にすれば、共感し、支えてくれる人が必ずいる。」偶然が導いたつながりへの感謝を胸に、日本一のプラットフォームを目指す2人の歩みは続く。

StockBase とは？
「不要と必要のマッチングサイト」
を謳う株式会社。
創業は令和3年4月。
<https://www.stockbase.co.jp/company>



File-005 加藤



金沢八景キャンパス正門からほど近いボランティア支援室。学生たちにとっては身近な存在だが、実情を知る者はそう多くないと感じる。ボランティア支援室傘下の学生団体 Volunch 食支援部門リーダーを務める加藤さん（4年）に話を聞いた。活動の一つが、「フードバンクかながわ」での寄付された食品の仕分け作業ボランティアである。活動に参加し、寄付される食品の多さが示す日本のフードロス事情の現実に圧倒された。自身のコロナ禍での経験からボランティアとして食支援部門を選んだ。アルバイトができず、両親からの仕送りもままならない中で食品の確保に苦しんだ。二年前の自分と同じように苦しんでいる人を助けたいという思いが強くある。今後について、「食支援に参加したいと思った学生がいつでも私たちの活動に参加できるように、学生と寄付団体をつなぐ懸け橋になりたい」と語る。「事の現状は目で見なくてはわかりません。参加することの大切さを伝えたいです」

お気に入りの市大スポットは八景キャンパスのビデオホール。人のいない静けさが集中力 UP の起爆剤に。



「フードバンクかながわ」での活動の様子

ええっ?! 横浜市立大学 ショッキング ファクト

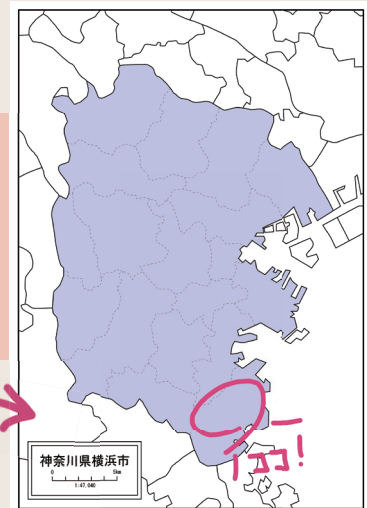
SHOCKING
FACT



あなたは横浜市立大学（通称：横浜市）に対してどんなイメージを持っていますか？
横浜市生ではない者（横浜市を目指す高校生、一般の方など）と、実際に横浜市で学生生活を体験した学生とでは、横浜市に対する印象が大きく異なるようです。
ここでは、横浜市に来てみて想像と違っていたこと、良かったこと、ショックを受けたことなどなど、学生たちのリアルな声を赤裸々にお届けしちゃいますっ！

「横浜」市立大学だけど、 横浜駅にあるわけじゃない？

横浜の大学でキラキラ生活送るゾ☆と意気込んで地方から上京した結果…
横浜都心部からは離れ、最南端に位置するという現実を知り衝撃を受ける学生、多数とのこと。
八景キャンパスのすぐそばには海や山。想像以上に自然がいっぱい。
派手さはないけど、居心地は良いかも。
それに横須賀や鎌倉にも行きやすいつて考えれば良いのです◎ ^^



金沢八景キャンパス
はこのあたり

ホームページ画像には ギャップが…？



「横浜市立大学」と検索して出てくるのは「YCU スクエア」という、数年前に建設されたばかりの綺麗な建物の画像が多い…実際の授業やゼミでは本校舎や研究棟をよく利用しますが、こちらの建物はちょっとレトロな感じです。
オープンキャンパスに参加せず地方から入学した学生は、ホームページの画像から思い描いていた横浜のイメージと現実のギャップに衝撃を受けるという声も…
横浜市は歴史ある大学。本校舎は1963年竣工で、あの建築家・村野藤吾の設計です。端正な外観で、中庭から見ると何とも言えないシックな雰囲気。
ドラマの撮影にもよく使われているみたいです。
ホームページの洗練された画像とは少しギャップがあるかもしれないけれど…親しみのある校舎です。

中庭から見た八景キャンパスの本校舎

仲間編



全国津々浦々、北海道から沖縄までさまざまなバックグラウンドを持つ人が、横りに集まっています。47都道府県の人と友達になれるかも?!そして、さまざまな国の留学生や先生方が在籍していることが横市の魅力のひとつ!横浜にいながらもたくさんの人と交流ができちゃいます☆三

高校までは比較的身近な地域の人と関わる機会が多かったけど、横市では出身地が十人十色!いろいろな都道府県、国々の人と仲良くなれる!!友達同士での意外なつながりも😊
(国際教養学部1年)

高校生まではクラスがあったけど、大学生になってからは履修する授業、帰る方向などそれぞれで違うから自分の人間関係の築き方を見直すきっかけに!人との心地よい距離感を掴むのに苦戦>_<
(医学部1年)

クラスに縛られない自由さとクラスがないことによる不安や孤独も味わいます…



学生みんな自由で、何かに挑戦し続けている。その姿勢が自分のモチベーションにもなる!!
(国際教養学部1年)

多くの方が口にする「学生時代の友達は一生」という言葉。頑張る友の姿を見て頑張れている自分で痛感しました!みんなガムシャラに今を生きてます♡



授業編

今後対面授業が増える予定なのでキャンパスに沢山行けますね!

オンライン授業が多かったためあまりキャンパスに行けていない(データサイエンス学部2年)

テレビのなかの人や自分では手の届かないような人の話が講義のなかで聞ける!教授の方々の人脈がスゴイ!!
(国際教養学部1年)

オンラインのせいか、先生が一方向的に話す授業が多いから自分で興味が無いとついていけないし、面白くない…(理学部1年)

通常の時間割のなかでテストが行われるから、1日に何個もの科目のテストがあるときも…大学生は知識を覚えるのではなく考える課題や授業が多いから勉強の仕方が分からない。けれど、明確なのは本は大切ということ!!
/テスト前の部活休みがないから、自分で勉強を始めるタイミングを決めなくちゃならなくて焦る…気づけばテスト1、2週間前?!
(理学部1年/医学部1年)

キャンパス・大学生生活編

思っていたより自然が多い(データサイエンス学部2年、理学部2年)

総研棟のあたりに猫がいたという目撃情報は数知れず…
筆者は金沢八景キャンパスで野生のリスを見かけたことがあります。



食堂のメニューが豊富(理学部2年)

大学内のボランティア団体とコラボしたメニューがあったり季節ごとのメニューがあったりして楽しい&美味しい!!

小中高とは違い、キャンパスがとっても広い!!教室移動は移動時間まで考えないと遅れちゃう(国際教養学部1年)

今までは10分休憩で体育の着替えも余裕だったのに、教室を移動するだけで大変…年齢と体力のせいでもある?!若さと青春は戻ってこないらしいです…

以上、「横浜市立大学ショッキングファクト」でした!読者の皆様いかがでしたでしょうか?

自然が多く、学生たちが挑戦できる環境は横浜市立大学の特色と言ってもいいかもしれません。

コロナ禍で様々な制限がある中でも学生や教員が試行錯誤を繰り返し、力を合わせて色々なことに取り組んできました。そして今、制限されたキャンパスライフも少しずつ元の形を取り戻しつつあります。

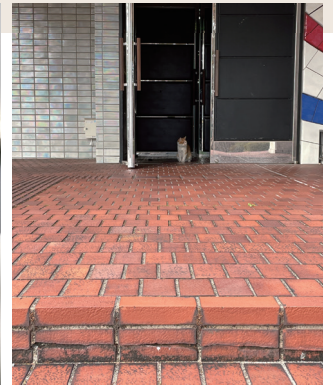
研究活動や国際交流、課外活動など、これからの横浜市立大学は益々活気あふれる大学になっていくことでしょう。

学生の力、そして横浜市立大学にどうぞご期待ください!!





ycu_contact



Welcome to



yokoichigram

横市生はいつも自然豊かな構内で大学生活を送っているのです！今回は素敵な写真の撮れる、八景島シーパラダイスから近い横浜市金沢区の「金沢八景キャンパス」で撮ったフォトジェニックな写真たちを紹介しちゃいます！！皆さんもぜひ横市のきれいな景色の世界へ足を踏み込んでみてください☆彡

#ycu

#こんなにきれいな写真も撮れちゃう

#お気に入りの写真 oshiete

#上の写真の月 🌙 と猫 🐾 見つけられるかな



横浜市立大学で 見られる様々な風景

大学の景色 時計台

横浜市立大学の校門を通った先にある、銀色の大きな時計台。大学で、日々時間を示してくれる場所であり、目印ともなるこの場所。大学で過ごす中で、目にする機会はいくつもあるだろう。

大学の景色 紅葉

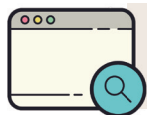
秋になると、ニュースなどを通して「紅葉狩り」といった言葉が、たびたび聞こえるようになる。紅葉は、秋の大きな魅力の1つだ。そして、横浜市立大学のなかにも、紅葉が発見できる。赤や橙色に染まった葉が、日の光に照らされる様子は、秋の訪れを感じさせるものだ。この光景は、シーガルホールの近くで見ることができる。

大学の景色 晴れた日の道

青い空を背景として、道の左右に植物の色が際立つ。そんな光景を目にしながらか、歩く時間。季節や気候によって、その光景は日々変化していく。日頃、自然と通っている道を改めて見てみると、その周りの景色に、歩くことが楽しくなるのではないか。今日、通った道には、どのような景色が見られたのだろうか。

市大ウェブサイト探訪

大学のウェブサイト、なかなか見ることはないかもしれませんが、よく見てみると面白い情報がいっぱい詰まっています。受験に向けて大学のことを知りたい人から、研究のことを知りたい人、ちょっと暇をつぶしたい人も楽しめるかもしれない、横浜市立大学（YCU）のウェブサイトの見どころをご紹介します。



まずは「yuc」で検索
横浜市立大学のホームページにアクセスしましょう！

トップページから最新情報をチェック

トップページには注目のニュース「トピックス」やイベント情報がアップ。ここから YCU の最新情報をチェックできますよ。

「ABOUT YCU」では、学生数などのデータや、YCU の特徴を紹介しています。

YCU を知りたい方は、まずはここから。



受験生じゃなくても楽しめるかも ウェブマガジン「ヨコ知り！」

「ヨコ知り！」は、受験生のためのウェブマガジン。

受験生を応援する情報、入試やキャンパスライフについてを動画などで紹介しています。

教員の研究やゼミでの学びについても知ることができるので、受験生以外の方にもおすすめ。

教育・研究を独占取材で掘り下げた「ACADEMICS」は読み応えあります。



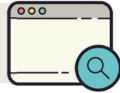
「ヨコ知り」で検索



創立 100 周年記念！ 特設サイトのコンテンツにも注目

YCU は 2028 年に創立 100 周年を迎えます！
100 周年記念事業の特設サイトも公開中。
「特別企画」として開催している「横浜市立大学の歴史を知る講演会」は、アーカイブ動画をどなたでもご覧になれます。

「YCU 100 周年」で検索



地域貢献センターのサイトには デジタル版の広報誌も掲載

本誌「CONTACT」を発行している地域貢献センターって？
地域貢献センターは大学と地域をつなぐ窓口です。
ウェブサイトでは、教員の地域連携や学生のボランティア活動、公開講座の情報を掲載中です。本誌「CONTACT」や、ニュースレターもデジタル版で見られます。
大学への地域連携のご相談は、地域貢献センターのお問い合わせフォームからお知らせください。

「YCU 地域貢献」で検索



※または、大学ウェブサイトのトップページ
右上の「地域貢献」をクリック



実は SNS もやっている！

手軽に情報にアクセスしたい方へ。大学の出来事は SNS でも紹介しています。

Twitter	@YCU_chiiki (地域貢献センター Twitter) @YCU_koho (広報担当 Twitter)
Instagram	yokohama_city_university
youtube	@YokohamaCityUniv
Facebook	https://www.facebook.com/YokohamaCityUniv

※ウェブサイトのデザイン・掲載内容は変更される場合があります。



そうだ、市大の図書館へ行こう

横浜市立大学の図書館「学術情報センター」（金沢八景キャンパス）・「医学情報センター」（福浦キャンパス）では、所蔵する学術資料を学外の方にもご提供しています。

質の高い学術資料を、皆さまの学びの助けに。市大の図書館をご活用ください。

市民利用登録制度

図書館で所蔵する学術資料を、調査・研究のために必要とする方で、満18歳以上の方を対象とするサービスです。（利用料あり）
横浜市外に在住の方でもご利用いただけます。

閲覧利用制度

図書館で所蔵する学術資料を、調査・研究のために閲覧できるサービスです。
市民利用登録制度の対象外の方や、資料の閲覧・複写のみを希望の方にご活用いただけます。

●各制度でご利用いただけるサービス

	内容	市民利用登録制度	閲覧利用制度
利用対象資料	学術情報センター・医学情報センター 1F・2Fの開架資料を自由に閲覧できます。	●	●
所蔵資料の確認	目録検索（OPAC）を利用して所蔵資料を検索できます。	●	●
複写	資料の複写ができます。 （著作権法に基づく範囲内で1人1部のみ）	●	●
資料相談	学術文献に関する相談をレファレンスカウンターで受け付けます。	●	●
電子ジャーナルの利用	市大で契約する一部の電子ジャーナルについて印刷提供できます。	●	●
資料取り寄せ	本学で所蔵していない資料の現物を他機関から取り寄せたり、複写物を送付してもらうことができるサービスを一部提供します。（有料）	●	×
貸出・返却	図書の貸出が利用できます。（冊数制限あり）	●	×
書庫への入庫 *学術情報センターのみ	書庫内の資料を閲覧できます。	●	メインカウンターで書庫内資料をご請求ください。

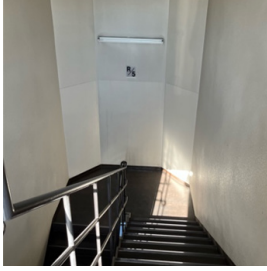
ご利用に際しては、学術情報センター・医学情報センターのメインカウンターでご申請ください。
詳しい申請方法や注意事項、開館スケジュールなどは、学術情報センターのウェブサイトでご確認ください。

🔍 ycu 学情 市民利用 ✕



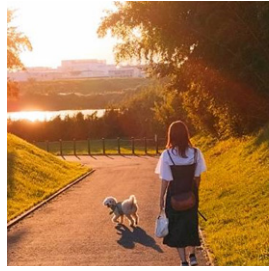
- * 車・オートバイ・自転車での来館はご遠慮ください。
- * 受験勉強等のために閲覧席のみを使用する目的での利用はご遠慮ください。

佐藤 るりか
医学部医学科 2年



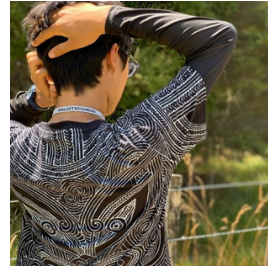
大学生ってもっと自由でいいんだ！と思わせてくれる人とたくさん出会えた製作期間でした。取材へのご協力本当にありがとうございます。暗いニュースの多い昨今ですが、この記事を読んでくださった方の心に、横浜市大生のパワーと情熱、若さの持つエネルギーが伝わればとても嬉しいです。

本多 萌恵
理学部 2年



未知の世界に、自力だけで触れてみることは少しハードルが高くありませんか？今回、記事を作成する機会が与えられたことで、自分だけではとどき着けないような方々に取材したり、そんな方々のことを知ったりすることが出来ました。読んでいる方にもこの体験を気軽にお裾分けできれば嬉しく思います！

新城 涼太
理学部 4年



十人十色の学生へのインタビューは、好奇心がくすぐられる刺激的な経験になりました。記事を通じて、学生それぞれの個性やエネルギーを感じていただけたら幸いです。また、横浜市立大学生にはまだまだ魅力がたくさんあります。ぜひ一度大学に足を運んでみてください！特に、11月に開催される学園祭がおすすめです♪

藤澤 海音
医学部医学科 2年



『CONTACT vol.2』をお読みいただきありがとうございます！文字数を絞って必要な情報を端的かつ皆さんに分かりやすい形でお伝えすることに苦労しました。文章を通じてではありませんが、私が地域の皆さんと市大の学生との「懸け橋」になれていれば嬉しいです！またどこかで会いましょう～！



野口 舞
生命ナノシステム科学研究科
生命環境システム科学専攻博士前期 2年

記事を読み、市大の院生について少しでも知ってもらえるととても嬉しいです。他にもナノシステム科学専攻という魅力的な専攻もあるんですよ。ところでこの写真はどこでしょう？正解は私の母校氷取沢高校の近くに佇む守り神、氷取沢神社です。イチヨウの葉っぱに見守られ、市大と似た安心感があります。

編集後記

本誌は、有志の学生ライターが取材・記事制作を行っています。本誌の制作を担当した学生ライターを紹介します。

※学年は発行日時点

中川 広望
国際教養学部 2年



横浜市ショッピングファクト1ページ目担当。1年前仙台から上京し、実際に私が受けた大・大・大ショックを読者の皆様に共有できて満足です。(笑) っと、割と辛口なファクト書きましたけど、優秀な先生や先輩、目標高い友人など刺激を与え合い高め合える仲間が集うヨコイチが今ではしっかり大好きですよ。

塚田 碧美
国際教養学部 2年



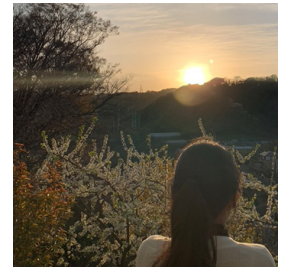
初めて読む側ではなく作る側で広報誌に参加し、大学生らしい記事作りに苦戦しながらも学びと楽しさがありました。当たり前であふれかえっている日々。大学1年生を今このときに過ごしたからこそ改めて感じた言葉の温かさ、大切さ、複雑さを実感しながら書けたと思います。記事を通して笑顔や驚きを届けられたら嬉しいです。

相葉 莉子
理学部 3年



学生のキャンパスライフはコロナの影響を大きく受けましたが、これからも横浜市立大学は学生の力で更に活気あふれる大学になるんだろうなと思いました。記事を読んで、皆様が横浜市立大学に興味を持っていただければ、筆者の1人として嬉しく思います。ありがとうございます。(写真は中学の修学旅行で作ったマグカップです。)

野田 悠花
国際教養学部 3年



今回、記事を作成し、広報誌を読んでくださる方々へ伝えたいことや届けたいことを、文章や写真を通して表現するという喜びを実感しました。普段目している景色の中の、さまざまな変化。身近にあるそれらを見つける楽しみにあふれている日常を、記事を通してお伝えすることができれば、嬉しいです。



横浜市立大学地域貢献センター
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2
金沢八景キャンパス
メール：chiiki@yokohama-cu.ac.jp
発行：2023年4月